

取組状況 (1)

防災教育や防災知識の普及_洪水に対する防災意識、逃げる意識の向上

「最上川水防災セミナー」を開催しました！【減災対策協議会】

～山形県内の減災対策協議会共同による開催～

山形県内に甚大な被害をもたらした「昭和44年8月洪水」から今年が50年目にあたる節目の年として、改めて水害から身を守る防災について考えるきっかけとするため、山形県内の減災対策協議会共同による「最上川水防災セミナー」を開催しました。

日時：令和元年5月13日（月）15:00～17:00

場所：ホテルメトロポリタン山形

参加者：約300名（一般住民、市町村・山形県・国の関係機関職員等）

主催：山形県内大規模氾濫時減災対策実行委員会

「災害時にトップがなすべきこと」

中貝市長から、平成16年台風23号による豊岡市での水害の経験をもとに、災害発生時にトップがとるべき対応等についてお話しして頂くと共に、豊岡市におけるコウノトリを通じた地域活性化の取組について講話頂きました。



兵庫県豊岡市長
中貝 宗治氏



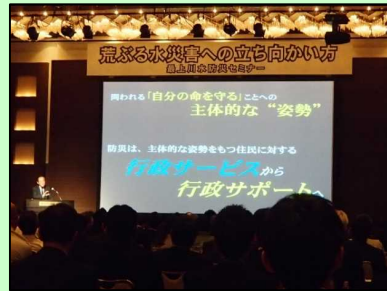
講演の状況

「荒ぶる災害への立ち向かい方」

片田特任教授から、動かない人を動かそうとするためには、その人の心を動かすように思いを伝えることが大事であることをお話しして頂くと共に、釜石市における「命の授業(防災教育)」の取組について講話頂きました。



東京大学大学院
情報学環 特任教授
片田 敏孝氏



講演の状況

取組状況 (2)

防災教育や防災知識の普及_洪水に対する防災意識、逃げる意識の向上

昭和44年8月洪水から50年目「巡回パネル展」を開催！

山形県内に甚大な被害をもたらした「昭和44年8月洪水」から今年が50年目にあたる節目の年として、災害の記憶を風化させず、改めて水害から身を守る防災について考えるきっかけとするため、最上川上流減災対策協議会からのお声がけで希望市町を対象に巡回パネル展を実施しました。

「台風シーズンに備え避難地図や写真展示

～山形市～

『洪水避難地図の普及促進を図るパネル展』を開催。過去に発生した水害の写真や拡大した避難地図を展示し、災害への備えの大切さを呼び掛けました。

日時：6月10日～14日

場所：山形市役所エン
トランスホール



水害から身を守るため

～南陽市～

平成25、26年の7月に2年連続で豪雨水害が発生していることから同日に合わせて実施。

過去の水害を思い出し、「自分の身は自分で守る」という意識を高めれば」としている。

日時：7月3日～9日

場所：南陽市役所談話
ホール



S44. 8洪水から50周年 ～ 白鷹町 ～

日時：8月28日～9月3日
場所：白鷹町中央公民館町民ラウンジ



総合防災訓練の開催 ～ 高島町 ～

大雨により最上川の水位が氾濫危険水位に達したとの想定で、住民による避難訓練や避難所開設訓練のほか、関係機関と連携した各種の訓練と併せて開催。

日時：9月6～8日
場所：高島町糠野
目生涯学習センター
生涯学習館



S44. 8洪水から50周年 ～ 山辺町 ～

日時：9月18日～9月24日
場所：山辺町役場庁舎1Fロビー



取組状況 (3)

避難勧告の発令に着目したタイムライン_実践的な訓練

最上川上流危機管理演習を実施しました【減災対策協議会】

～ 置賜地方の市町・県・国が合同で実践的な訓練を実施～

置賜地方4市町を対象に、豪雨災害対応訓練「最上川上流危機管理演習(置賜地区)」を行いました。演習は、ロールプレイング方式を簡易なものとし、想定最大規模以上の事象に対して、よりベターな対応を机上で検討する訓練(課題解決型方式)をあわせて実施しました。

日時：令和元年10月8日(火) 10:00～15:00
開催場所：山形県建設会館 大会議室
参加者：米沢市、南陽市、川西町、高島町、山形地方気象台、山形県、山形河川国道事務所 約60名

【米沢市】

市は自然災害が少なく県内での自主防災率も低い。災害に対して危機感が薄いのが課題。市独自のスキルアップを図りたい。

【南陽市】

避難したがる住民を避難させるためにも、防災リーダーの育成も必要。

【川西町】

町内の浸水域に指定されている地域とそうでない地域で住民の防災意識に差がある住民の意識向上が必要。

【高島町】

町の体制では、大規模災害に対応するには人員が足りないという課題が浮き彫りになった。特に横の連携がスムーズにいかないことがわかり、今後見直しを検討していきたい。



南陽市演習状況



高島町演習状況



川西町演習状況



米沢市演習状況

編集後記

令和元年10月12日に山形県を襲った台風19号は、非常に激しい雨が降り累加雨量は多いところで300mmを超える大雨となり、最上川上流部では糠野目観測所では計画高水位を超え、羽越水害を超える観測史上第1位の水位となりました。

あらためて地域防災は、日々の訓練と住民一人一人の防災意識を持つことが重要と感じた出水となりました。